

■ 2023 年度車両分解活動・部品ベンチマーク活動 欧拉好猫車両分解調査活動報告及び

会員企業による分解調査結果報告会（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載されている部品の試作製作ができるよう、車両分解調査活動などを通して次世代自動車技術に関する情報提供を実施しています。

今回、会員企業の皆様に、電動化に伴う軽量化、振動、騒音、熱管理等のニーズ変化や、それらの加工法を捉える次世代自動車対応の一環としてお役立ていただくため、2022 年度に購入して分解調査活動を行ってきました中国メーカー製の最新EVの「長城汽車製欧拉好猫 (ORA GOOD CAT)」に関する電動パワートレーン部品、熱マネージメント部品、車体などの分解部品展示と、当センターの望月センター長による車両分解調査活動全体の報告を行いました。

また、当センター部品ベンチマークルームの展示部品に関して詳細調査・分析を行なった会員企業の皆様に、その調査結果の一端を発表していただくとともに、試験機メーカーによる最新の計測技術等についての講演を開催しました。

■日 時： 令和6年3月21日（木）10時30分～16時

■場 所： アクトシティ浜松 展示イベントホール

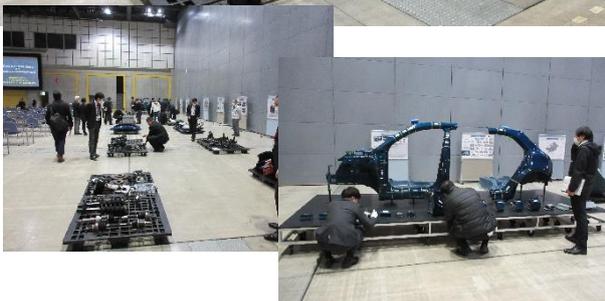
■参加者： 78社/157名

<開会>

【欧拉好猫車両分解調査活動報告】



<車両分解部品の展示>



【会員企業による分解調査結果報告会】

＜株式会社神戸製鋼所 様＞



＜ナカムラマジック(株) 様＞



＜株式会社山田製作所 様＞



＜ヤマハ発動機(株) 様＞



【試験機メーカーによる技術動向講演会】

＜協立電機(株) 様＞



＜株式会社島津製作所 様＞



【望月センター長によるまとめ】



【参加者の声】

<欧拉好猫車両分解調査活動報告>

- ・実車の部品を近くで観察、場合によっては手に取って見ることができる機会は少なく、分解調査報告と合わせて、大変参考になった。
- ・細かな所まで分解されており、部品はベンチマークするが車体全体を見ることはなかなかできないため、とても参考になった。
- ・展示品の見学だけではわからない見方や考察等、有益な情報を伺うことができた。
- ・試乗から分解まで段階を経て調査を進められていることが、よく理解できた。
- ・車両全般を広くご説明頂けたので、中国製EVの設計思想をつかむことができた。
- ・各部位の特徴を分かりやすく説明いただき、勉強になった。
- ・想像以上に中国メーカーの技術力が高かった。
- ・自動車の構成部品サプライヤーなどまで分かり、参考となった。
- ・バッテリー性能やモーター性能が特別良いものではないとわかり、コストも抑えていることを理解した。

<会員企業による分解調査結果報告会>

- ・各メーカーの目的や分析内容が参考となった。
- ・各社いろいろな切り口で詳細に調査されていて、勉強になった。
- ・製品調査に対するアプローチや分析手法等が、参考になった。
- ・中小企業では難しいレベルの調査内容で、大変参考になった。
- ・各企業の得意とする分野、技術にてベンチマーク評価を行い、その結果を説明いただき、大変興味深い内容だった。
- ・様々な角度から調査が行われており、調査のアプローチ方法も参考になった。
- ・比較され、数値として評価も出ていて、解析結果もわかり、良かった。
- ・普段自社で扱っていない部品についても注目すべき特性や性能を理解することができた。
- ・山田製作所様のポンプの分解調査が細かく分解されており、良かった。
- ・専門的な調査内容であったが、調査内容が興味深く、様々な視点があると感じた。特にナカムラマジック様のインバーター調査が興味深かった。
- ・ヤマハ発動機様の報告のモーターローターシャフトの内容が弊社事業での可能性もあり、参考になった。

<試験機メーカーによる技術動向講演会>

- ・最新の試験装置の技術動向を直接伺うことができ、大変参考になった。
- ・試験機メーカーからのアプローチとして試験機側からの視点でご説明頂けたのが、参考となった。
- ・ラインの監視や製品分析の最新情報が聞けて良かった。
- ・評価自体の説明は興味深く感じた。
- ・今まで聞いたことのない試験装置の情報を聞くことができて良かった。
- ・いろいろな測定方法等があるのが分かった。
- ・試験に立ち会うことがないため、興味深かった。
- ・より良い製品を作るためにも、様々な試験を試す必要があると考えた。
- ・2社ともにAIを活用した評価法をご提案されて、今後非常に有効な手段になると思った。
- ・試験機メーカーの最新動向、AIを使用した検査装置があるなど新しく情報を入手できた。
- ・実際に分析装置のデモが可能な施設があることが分かって良かった。
- ・使われている材料・技術が詳細に調査されており、勉強になった。
- ・使用する人を考えて新製品の開発をしており、ポイントを決めた開発の必要性を再認識できた。